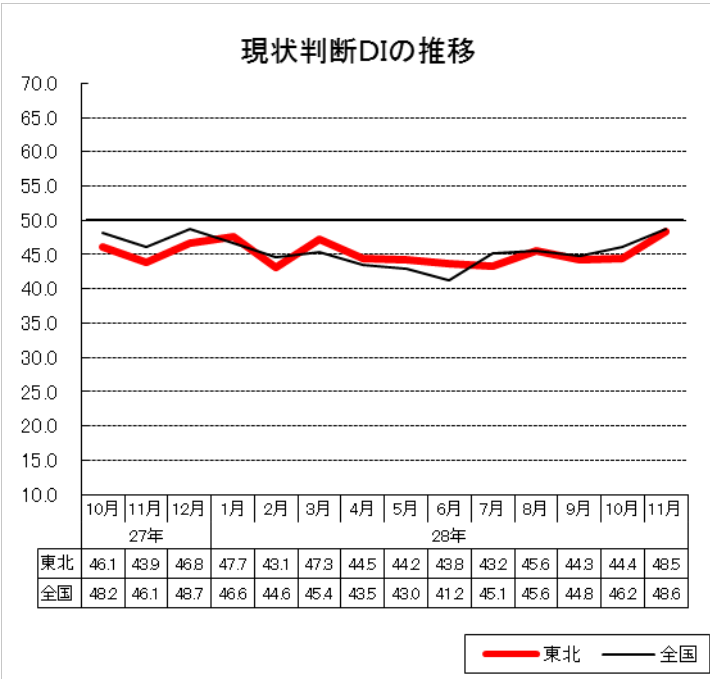


公益財団法人東北活性化研究センター
「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 28 年 11 月東北分
(新潟を含む東北 7 県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：海輪 誠・東北電力(株)取締役会長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 28 年 11 月東北分（新潟を含む東北 7 県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 現状判断（3か月前との比較、方向性）

現状判断 DI は「48.5」と2か月連続で前月を上回った。前月と比較し+4.1 ポイントと大幅に上回ったが、16か月連続で景気判断の基準となる 50 を下回った。



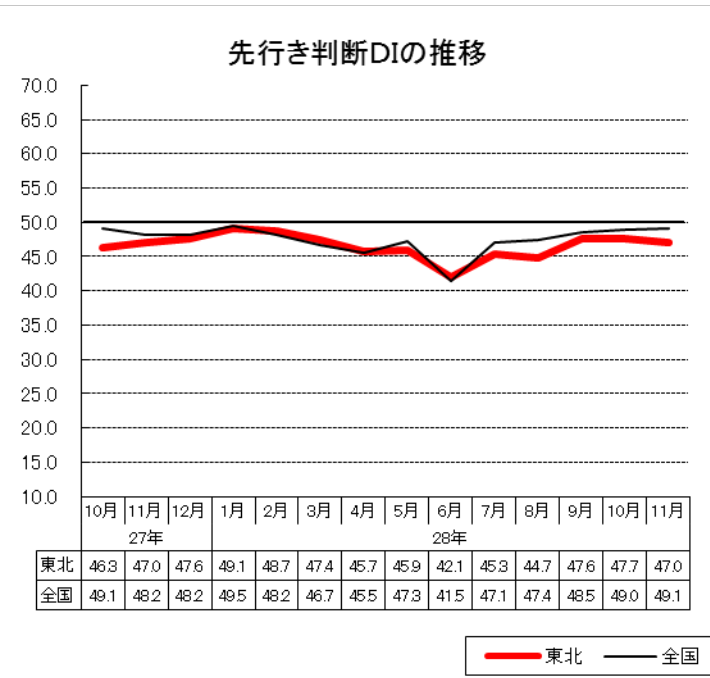
- ・家計動向…乗用車販売店、家電量販店、商店街代表者等で DI が前月を下回ったが、一般小売店、旅行代理店、一般レストラン等の業種で DI が前月を上回った。DI は「47.4」(+3.7)と2か月連続で前月を上回ったが、基準値 50 を 18 か月連続で下回った。

- ・企業動向…金融業、司法書士・経営コンサルタント、その他企業動向を把握する者等で DI が前月を下回ったが、農林水産業従事者、その他非製造業、食料品製造業、家具及び木材木製品製造業、広告代理店等の業種で DI が前月を上回った。DI は「48.7」(+6.2)と3か月ぶりに前月を上回ったが、基準値 50 を 8 か月連続で下回った。

- ・雇用動向…DI は「54.5」(+2.2)と2か月連続で前月を上回り、基準値 50 を 2 か月連続で上回った。

2. 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）

先行き判断 DI は「47.0」と3か月ぶりに前月を下回った。前月と比較し▲0.7 ポイントとわずかに下回り、17か月連続で景気判断の基準となる 50 を下回った。



- ・家計動向…スーパー、乗用車販売店、都市型ホテル等の業種で DI が前月を上回ったが、高級レストラン、衣料品専門店、美容室等の業種で DI が前月を下回った。DI は「46.1」(▲0.9)と2か月連続で前月を下回り、基準値 50 を 17 か月連続で下回った。

- ・企業動向…家具及び木材木製品製造業、その他非製造業等の業種で DI が前月を上回ったが、それ以外の業種では前月から DI が横ばいもしくは下回った。DI は「46.7」(▲2.1)と2か月ぶりに前月を下回り、基準値 50 を 8 か月連続で下回った。

- ・雇用動向…DI は「53.4」(+3.4)と、2か月連続で前月を上回り、2か月連続で基準値 50 を上回った。

<参 考>

■D Iの推移※

(1) 現状判断(方向性) D I

	27年			28年										
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
東北現状	46.1	43.9	46.8	47.7	43.1	47.3	44.5	44.2	43.8	43.2	45.6	44.3	44.4	48.5
家計動向関連	44.9	42.3	45.7	47.3	41.7	46.6	42.5	42.4	43.2	42.2	44.4	43.3	43.7	47.4
企業動向関連	47.5	47.6	47.4	47.0	46.2	50.0	46.9	46.7	42.5	43.6	48.0	47.5	42.5	48.7
雇用関連(参考)	51.1	47.7	52.3	51.1	46.6	46.4	52.5	51.3	50.0	48.9	48.9	44.3	52.3	54.5

(2) 先行き判断D I

	27年			28年										
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
東北先行き	46.3	47.0	47.6	49.1	48.7	47.4	45.7	45.9	42.1	45.3	44.7	47.6	47.7	47.0
家計動向関連	45.9	45.3	46.6	48.8	49.1	46.5	44.8	44.7	43.6	45.0	42.6	47.4	47.0	46.1
企業動向関連	46.3	51.2	46.1	49.4	44.9	50.0	46.9	48.0	36.3	44.2	48.7	47.5	48.8	46.7
雇用関連(参考)	48.9	50.0	56.8	51.1	53.4	48.8	48.8	50.0	43.8	48.9	51.1	48.9	50.0	53.4

※D I (Diffusion Index) について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 平成 28 年 11 月 25 日～30 日

回答者数 194/210 名、回答率 92.4%(全国 1,850/2,050 名、90.2%)

以 上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター (担当: 萱場 喜樹)

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10

TEL : 022-225-1426 FAX : 022-225-0082

<別紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（1）現状判断理由

○「やや良くなっている」

- （寝具販売店）…大きな注文受注や、ふとん作りの注文があったため、売上が伸びている。ただし、これは一過性のものであり、この状況が継続することは期待できない。
- （衣料品専門店）…消費者はようやく冬支度を始めている。注文服の購買意欲は今一つであるが、修理部門では多少お金がかかっても修理して冬を越そうという客が増えている。
- （ショッピングセンター）…冬物衣料が動き出し、客単価の底上げにつながってきている。
- （都市型ホテル）…宿泊は前年並みであるが、忘年会のシーズンを迎えて、初めて利用するという企業がわずかではあるが増えている。また、客単価も微増している。
- （旅行代理店）…国内団体旅行の動きが良い。新幹線効果で北海道への数字は好調である。また、沖縄、関西方面への動きも良い。
- （遊園地）…今年の11月は曜日まわりが悪く連休がなかったが、3つのイベントで天候に恵まれ、団体客の動きが良い。そのため、前年の来客数を上回ることができている。
- （農林水産業）…前年と比較して、米の農協買取価格が若干上昇している。加えて、燃料価格が前年をかなり下回っている。
- （食料品製造業）…大型の受注があり、売上は前年を上回っている。ただし、歳暮商戦においてはあまり動きが良くない。
- （電気機械器具製造業）…先端技術をベースとした、新規開発製品の案件が増えてきている。
- （建設業）…新築工事の許認可が遅れており、着工も遅れているが、小口工事の受注が増えている。
- （人材派遣会社）…派遣開始人数が増加傾向にある。長期ポスト、紹介予定派遣については、オーダー依頼から開始まで短期間で決着がつく事例が増えている。一方で人材確保は依然として厳しい状態が続いている。

○「変わらない」

- （商店街）…消費者の購買意欲がない状態が続いている。
- （百貨店）…今月に入って、気温の低下に伴い防寒衣料の動きが活発になっている。久しぶりに紳士婦人服の売上は微増となっているが、お歳暮の立ち上がりの動きは鈍い。また、全体の客単価の低下傾向に変化はない。
- （スーパー）…3か月前は前年比96%であった客単価が、今月は野菜価格の高騰などの影響もあって100%近くとなり回復傾向にある。
- （家電量販店）…来客数は年々減少しており、この傾向に変化はない。
- （住関連専門店）…商品に対する客の要望が小型化しており、販売価格が低下している。
- （一般レストラン）…例年であれば、忘年会は11月中旬より忙しくなるのだが、今年は12月の各週末に偏っている。
- （観光型ホテル）…秋の団体客の入込については、10月は良かったものの11月までは継続していない。
- （タクシー運転手）…自分の身の回りのタクシー業界にはあまり変化がなく、いつも同じような成績で推移している。そのため、今までどおりに景気が良いと実感している。
- （通信会社）…コスト削減の話ばかりであり、商品が売れない。
- （住宅販売会社）…今まで競合することがなかった上位ランクメーカーと、価格攻勢でぶつかるようになってきている。そのため、受注に至るまでに以前よりも時間を要している。
- （金融業）…米国次期大統領の影響により相場が不透明であり、顧客は様子見の状況である。
- （公認会計士）…今月は建設関係の申告会社が多いせいか、総じて利益計上をしている企業が多い。ただし、小売業及びサービス業は、売上、利益共に前年比が減少している企業が多い。

(職業安定所) …復興関連求人などの減少もあり、今年4月以降は新規求人数の前年比は減少で推移している。新規求職者数はほぼ横ばいで推移しているが、10月までの累計において、45歳未満が減少しており、45歳以上は増加、特に55歳以上で増加幅が大きくなっている。

○「やや悪くなっている」

(コンビニ) …客層のうち、多数を占めている年配客は寒くなると外出を控える傾向にあるため、11月の冷え込みはじめたころから、来客数が頭打ちとなっている。また、客は特別に価格の安いものを求めているわけではないものの、買上点数が減少している。

(乗用車販売店) …市場は確実に縮小傾向に向かっている。

(酒類専門店) …今月は、観光客向けの物産館、飲食店共に販売量が落ち込んでいる。在庫を過剰に抱えたくないという意識がひしひしと感じられ、売れた分だけを仕入れるという得意先がほとんどである。また、ボジョレーヌーヴォーの予約も伸びず、前年より売れていない。

(美容室) …ドラッグストアなどの大型店が近くに出店しており、来客数や販売量が減少している。

(窯業・土石製品製造業) …上期の実績を踏まえた下期の需要想定が、当初の見込みより減少している。公共工事の減少と工期の遅れが影響しているのか、出荷量の前年比の減少幅が大きくなっている。

(広告業協会) …11月の新聞広告は前年並みを維持できているが、TV局はスポットの出稿が少なく、前年割れを見込んでいる。そのため、下期の広告業界では苦戦が続いている。

(新聞社[求人広告]) …都市部では若年層を中心に求人が多少増えてきているが、地方ではアルバイトを含めて激減している。求人数をみる限り景気の上昇機運はみられていない。

(2) 先行き判断理由

○「やや良くなる」

(乗用車販売店) …消費税増税の再延期により駆け込み需要は見込めないながらも、新車販売は新型車を軸に堅調に伸びるとみている。

(一般レストラン) …忘年会シーズンであり、新年会についても前年と比べて減少傾向にあるものの、動きはあるため、景気はやや良くなるとみている。

(都市型ホテル) …先行きの予約状況は今月同様に伸びている。例年よりも年末年始の曜日の並びが悪いものの、前年よりも動きがあるため期待をしている。

(電気機械器具製造業) …新規開発製品が増えつつある。同時に、先端技術ゆえのリスク回避のため、研究開発の動きが活発化してきている。

(建設業) …年度末に入札を控えた案件があるため、受注状況によって業績が良くなる可能性がある。

(金融業) …製造業では在庫の積み増しの動きがみられている。また、水産加工業では原料不足から製品単価が上昇する見込みである。

(人材派遣会社) …今年は、新卒採用で苦戦した分の補充として、中途採用を考える企業が散見されている。また、現在は各企業ともに来期の採用計画を立案しているため、そちらの動向も注視したい。

○「変わらない」

(百貨店) …ここ数年は福袋の需要が落ち着いてきており、初売りで売上が大きく伸びることは期待できない。クリアランスセールにおいても、夏のセール後に売上が伸びなかったことから、前年並みに推移すると見込んでいる。一方、バレンタインはここ数年売上を伸ばしており、顧客の関心とマッチすれば、売上の増加を期待できる。ただし、外部の要因による景気の変動はあまりないとみている。

(スーパー) …米国大統領選挙による好材料はなく、日本経済にどのような影響を及ぼすか不透明である。日本の株価は堅調な動きであるが、景気回復への好材料はなく、景気に変化はないとみている。

(ガソリンスタンド) …為替相場が円安に振れていることや原油相場の上昇により、燃料油の単価上昇が見込まれる。低燃費車への乗換え需要がさらに加速することが懸念される。

(食料品製造業) …消費の二極化が続くなかで、節約志向は徐々に強まるとみている。しかし、消費全体の下振れは大きくないとみられるため、個人消費は横ばいで推移する見込みである。

(一般機械器具製造業) …受注量は横ばいで推移するとみている。ただし、為替の動向が現在の水準を維持すれば、輸出採算が改善する可能性がある。

(経営コンサルタント) …米国大統領戦後の動きを様子見する状況が続くとみている。

(金属工業協同組合) …製造業全般的に見積件数は若干の増加傾向にある。しかし、他社との低価格競争が激しく、本受注の獲得には苦慮している。そのため、2～3か月先の受注残の見込みは不透明である。

(職業安定所) …電子機器関連業種での企業グループの再編、パソコン製造などの海外企業への売却などの影響が製造業において懸念されるものの、その他の業種においては特に懸念される状況は確認されていない。

(民間職業紹介機関) …復興関連事業の落ち着きにより、求人数も若干ではあるが減少傾向にある。なお、福祉関係の求人は相変わらずあり、正社員の採用も若干増加してきている。

○「やや悪くなる」

(医薬品販売店) …震災の復興需要も終息に向かいつつある。建築関連会社の経営者の話では、地元の仕事は少なくなり、住民の帰還が進みつつある地域にまで行って、仕事を求めて出張しているとのことである。今後は、経営者の引き締める気持ちが強くなり、地元の景気は冷え込んでくるのではないかと。

(コンビニ) …特にサラリーマンの人達の顔色に精彩がなく、節約傾向が顕著にみられている。今は、日々の消費を減らしつつレジャーにはお金をかける傾向があるため、働く世代の節約傾向は今後も強くなるのではないかと。

(衣料品専門店) …この先はバーゲン商戦に入るが、客の様子をみても、安いからといって購入が増えるとは考えにくい。むしろ、単価の落ち込みを懸念している。

(美容室) …再来店率が横ばいもしくは前年を下回っている。既存客の来客数に変化がなく、新規客が増えないということは、景気が後退しつつあるのではないかと。

(輸送業) …北国の冬となり、天候状況によっては経費の増加が見込まれる。また、物流が順調になるとは限らなくなり、不安要素が大きくなる。

○「悪くなる」

(高級レストラン) …12月の予約状況が非常に悪く、これから予約が入ることもない。良くなる要素がなく、景気はどんどん悪くなっている。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以 上